



いまいは今
vol. 264

発行 今井町並み保存会
発行日 令和4年6月1日
電話 0744-22-1128
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
◇ご意見・ご感想は
今井景観支援センターまで

令和4年度

今井町並み保存会総会 開催

コロナ禍で令和2、3年度の総会は2年続いて書面表決で実施しました。

今年役員改選期にあたり、若林稔会長が勇退の意向を示された為、何とか対面による総会をと企図しました。変則的ではありませんでしたが、参加人数を制限して4月22日、公民館で拡大常任理事会を亀田忠彦檀原市長、細川佳秀市議会議長はじめ、来賓の方々のご臨席を賜り、コロナ感染に配慮して開催しました。

その後、区長理事・理事の皆さんの書面表決の結果、4月29日に新役員が左記の通り承認されました。

新役員

- | | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| 会長 | 中西 知 | 副会長 | 大村 真司 |
| 副会長 | 中島 章行 | 副会長 | 工藤 桂市 |
| 事務局 | 田原 勝則 | 会計 | 大橋 弘治 |
| 庶務 | 若林 昭子 | 庶務 | 木本 京子 |

会長就任のご挨拶



中西 知

当保存会の活動の端緒は、昭和30年に東京大学・伊藤鄭爾氏らによって行われた町家調査にあり、実に67年を経ていきます。

私は、6期12年にわたって会長を務められた若林稔氏の後を継いで会長に就任いたしました。私自身保存会での活動歴は、わずか6年でこの大役を引き受けするのは甚だ経験不足の上に、今井町の歴史や文化についての見識も前若林稔会長には足元にも及ばないことは重々承知しています。

ただこの6年間に、次のような事を学び、今井町の町並み保存活動の意義(役割)や重要性について認識を深めました。

例えば、昭和四十年代日本は高度成長期に当り、古いものは壊し新しく建てるのが当然という風潮の中で、稱念寺の故今井博道住職は、有志を集めて「今井町を守る会」を作り、その後、妻籠・有松の地域づくり団体と連携して、昭和49年に「町並み保存連盟」結成。翌昭和50年には「全国町並み保存連盟」に改称。当保存会も昭和63年に名称を「今井町並み保存会」に変更してまいります。

正に、今井町は全国の町並み保存活動の原点ともいべき町で、現在も若林前会長が連盟の監事として重責を担ってくださっています。

現在、今井町内には重文今西家をはじめ8軒の重文民家があります。日本中どこに民家の重文がこれだけ集積している町があるでしょうか？国の施策で重要伝統的建造物群保存地区の選定に当たってその第1号になるはずであった今井町が、町を二分する保存賛成・反対の議論を経て、平成5年第38番目に選定されたという歴史的事実には内包される今井町民同志の葛藤はどのようなものであったのでしょうか？

いろいろ紆余曲折がある中で、当保存会の活動が市当局を動かす、市独自の予算で町家の復元修理に補助金を出して町並み保存に積極的に取り組んだ結果、重要伝統的建造物群保存地区に選定後は毎年20件にのぼる復元修理が行われ、今や伝統的建造物に指定されている504件のうち、実に7割の復元修理が終わって、私の子供の頃に比べて見違えるような美しい町並みに甦り、全国から注目されるようになりました。

歴代会長を先頭に、今井町を愛する諸先輩方が、町の皆様の理解と協力を得ながら続けてこられた保存会の活動を尊重して、私も微力ながら誠心誠意取り組む覚悟です。皆様方のご協力ご支援を心からお願いして会長就任の挨拶とさせていただきます。

第25回 今井町並み散歩

3年ぶりに開催

5月13日、14日に令和元年以来、3年ぶりに今井町並み散歩を開催しました。

コロナの感染状況を考慮して例年のように実行委員会も組織せず、日数も行事内容も大幅に縮小しました。恒例の茶行列を中止して、稱念寺(今井宗久)、重文旧米谷家(千利休)、重文高木家(津田宗及)、まちや館(豊臣秀吉)、景観支援センター(織田信長)の五カ所にそれぞれ「茶行列」の時に着る衣装を展示しました。

加えて、今春に復元修理が完了した重文稱念寺の本堂公開、及び重文民家(音村家・高木家・中橋家・旧米谷家)の内部公開、又、「名工の館」も旧米谷家の座敷で茶道具に関係ある3人の作家・川邊庄造氏(茶釜)、古瀬堯三氏(赤

稱念寺

今井宗久の衣裳



景観支援センター

織田信長の衣裳



旧米谷家

名工の館



今西環濠広場

六斎市



膚焼の茶器)、坂本曲齋氏(台子・茶杓・漆盆)の作品を展示しました。「今井まちかどアート」としては稱念寺の庫裏では拓本展、阿伽陀屋若林亭では、漆と書道展、にぎわい亭では藁書展も開催されました。

13、14両日はあいにくの雨模様の天気でしたが、15日は天候も回復し、自治会主催で六斎市が今西環濠広場で開催されました。

今回は出店者を町内の皆様に限定し、しかも飲食関係の出店を認めず極めて小規模に実施しました。

イベントの開催そのものの開催の可否をコロナ状況を見て一週間前に決定するとうい条件付の開催であったので、告知もままなりませんでしたが、15日は日曜日でもあり、旧米谷家では355人の来場者を数え、六斎市にも数百

人が足を運んでくださいました。今井町に久しぶりの賑わいが戻ってきて楽しい元気な一日となりました。

令和3年度は

総額約11万円の募金集まる

保存会では、華薨・まちや館・景観支援センターの三カ所に募金箱を設置しています。

令和3年度は、総額115,637円の募金が集まりました。

募金は町並み保存の活動を応援して下さる貴い浄財で、今年2月にこの募金を活用してパソコン購入費に充当させていただくなど、活動資金として活用させていただきます。

現在の募金残高は122,373円となっております。

TV放送

5月3日に奈良テレビの番組「角角鹿鹿」の今井町内での収録に、俳優 加藤雅也氏が来町、華薨、恒岡醤油店、豊田記念館等で撮影が行われ、旧米谷家では中西会長が取材に応じました。

お詫びと訂正

先月号「いまいは今」の表面に誤字がありました。お詫びして訂正します。

富田屋(X家)、音村(X林)家